

2017年11月1日

▼Press Release

**12月サービス提供がスタート！  
AI 帳票処理特化型 RPA「LAQOOT(ラクート)」AI エンジンを開発**

株式会社アンタス（北海道札幌市中央区、以下アンタス）は2017年12月より提供される、日本初となるAI 帳票処理特化型 RPA「ラクート」に搭載したAI 文字認識エンジンをグループ会社である株式会社ユニメディア（東京都千代田区、以下ユニメディア）と共同開発いたしました。ユニメディアが提供しているデータ入力システムに AI 文字認識エンジンを搭載することで高品質に帳票処理に係る入力業務を大幅削減し、企業のデジタルトランスフォーメーションを推進いたします。



**■ 帳票処理 RPA (Robotic Process Automation) と AI 技術**

現在、OCR（光学的文字認識）の開発が進むなど、世の中では帳票処理を行う様々な製品が提供されています。精度は上がりつつありますが、正確なデータ化が十分に行われないため、結果的に文字を修正する工数が取られてしまうなど、業務負担を軽減できていないのが実情です。

また、人材難の中で入力を補うスタッフの採用も困難であるため、工数削減・人的負担の軽減を実現する、更なる自動化を推し進めるシステムが求められています。

この背景をふまえ、アンタスは AI 文字認識エンジンの開発を手掛け、この技術を組み込んだ、AI 帳票処理特化型 RPA「LAQOOT（ラクート）」をユニメディアと共同で2017年12月中旬より提供開始致します。RPA と AI 技術の融合により、より高品質な帳票処理特化型のサービス提供を行っていきます。

提供に先駆け、11月に幕張メッセで開催される「AI・業務自動化展 (<http://www.ai-auto.jp>) へ出展、「LAQOOT（ラクート）」をお披露目いたします。

**■ AI 文字認識エンジンの今後の目標・展望について**

ディープラーニング（深層学習）により、日々のサービス提供の中で AI 文字認識エンジン自体が高次の特徴量を獲得し、常に精度を上げていきます。その AI のディープラーニングで、活字・手書き問わずデータ化できるだけでなく、前後の文脈を理解し、読み取れない単体文字でも類推してデータ化実現も可能にしていくことを目指します。

AI 文字認識エンジンをより精度の良いものに仕上げることにより、AI 文字認識エンジンのみの提供の実施を行い、帳票処理をより早く・大量に・より正確に、そしてコストの大幅削減を実現していきます。

※参考※

■ユニメディア従来のデータ入力システム「Crowd Entry System」

通常データエントリーシステムが保有する機能を備えつつ、入力作業にユニメディアが提供するクラウドソーシングプラットフォームのユーザーを活用。これにより定常的に入力スタッフを抱える必要が無く、必要な時に必要な分だけ入力を手軽に安価に委託することが可能に。

エントリーコンペアの仕組みを取り入れており、1人のユーザー入力でデータ化を完了することではなく、常に高精度な入力を実現。

また分散入力に対応。ユーザー一人ひとり画像全体が見えず、分割画像の入力を行うことで、高セキュリティを実現するシステム。

※Crowd Entry System <http://ces.out-source.jp/>

《お問合せ》

株式会社ユニメディア

→AI 帳票処理特化型 RPA「ラクート」について

→Crowd Entry System について

株式会社アンタス

→AI 文字認識エンジンについて

《会社概要》

会社名 株式会社アンタス <https://antas.co.jp>

設立日 2004年5月20日

資本金 2,400万円

代表者 代表取締役 佐藤敏彦

事業内容

MOBILE・CLOUD・AIを核としたマーケティングテクノロジーのサービス開発

会社名 株式会社ユニメディア

設立日 2001年4月20日

資本金 5,000万円

代表者 代表取締役社長 末田 真

事業内容

ソリューション事業、プロモーション事業

《このリリースに関するお問い合わせ》

株式会社アンタス

社長室 村田真友美 TEL 011-221-5100